常磐毎日新聞

日刊

七月十五日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢
廣告料普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
編輯所 平市長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二二〇番

訓練第一日 命令を待たず日沒から燈火管制

讀め！"防空訓練早わかり" 護れ大空の意氣も高く

『護れ大空』の意氣も高らかに本年度第二次防空訓練は來る十八日から廿二日まで實戰その儘の緊張裡に執行されるが同訓練に際し平市役所では三萬五千市民の必守事項としてこの程縣警防課から出た『防空訓練早わかり』と題するプリントを各家庭に配布、訓練の萬全を期す筈であるが、同プリント中の重要事項は左の通りである

▽燈火管制は訓練第一日は命令を待たず日沒より直ちに燈火管制を行ふ

▽交通整理、待避等は市と町その他指定せられた村に限り行ふ

▽防毒、避難、救護は平市に限り行ふ

▽その他指定された日には防球監視を行ふ

▽投下彈現示し燒夷彈は赤色ゴム鞠、赤色小旗等を以て示す、爆彈は前記材料に白布を用ひる、一時性瓦斯彈は右の材料に黄色を用ひる持久性瓦斯彈は右の材料に黒色を用ひる

▽音響、交通制限、待避――空襲警報、同解除の信號と同樣又は類似のサイレン、汽笛の吹鳴は禁ぜられる、消防訓練實施現場の一般交通者及び車輛の交通を一時制限される、訓練空襲警報下においては市町及び指定せられた村では待避を行ひ、一般通行者は地形地物を利用して適宜の掩護下に待避する

▽家庭防空擔任者の心得――1、訓練の準備、消防訓練を行ふところは「バケツ」水槽、消火器水道用ホース等の防火用具を準備し、防空擔任者は消火活動に便なる服裝を準備すること2、警戒警報發令の時は容器に水を滿して適當の場所に置き、群內各家庭の連絡及び消火活動に便ならしむるため通路の邪魔物は豫め取除くこと、燈火管制規定を正確に實施すること3、空襲警報の時、夜間の燈火管制は迅速確實に行ひ、防空擔任者は戶外に出て敵機の爆音に注意し投下彈の現示を監視すること4、投下彈現示ありたる時は「火事」「燒夷彈」等と大聲に呼びながら「バケツ」、金盥を亂打して急報すること、發火現場では砂、濡叺等を用ひて火花を蔽ひ延燒を避けること

天氣豫報

今晩も明日も南東の風晴たり曇つたり

記念事業と各町村（三）

小名濱支局通信

支局長 小野務平

▽江名町卷終篇△

二業組合從業者の赤誠に敬服し更に當日行事中のプロに依つて施行されたものを聞くと戰歿、傷痍、出征遺家族慰安會の催しである、各町村共に此種の計畫は立てそれ／＼催された樣ではあるが作山町長の計畫は實に行き屆いた慰安の方法であつた

會場は江名町唯一の娛樂場江樂館午後一時より遺家族を中心に參集された入場者は實に一千名の多きに達して居る、殊に此日の在鄕軍人分會や軍人會の活動は一際目立つたもので作山町長の挨拶に依つて幕は切つて落され隣保館幼兒の唱歌遊戯を第一として小學校生徒演技と進みいたいけなる兒童の遊戯振りには天使のそれかと思はせ總ての悲しみから脫じて純情美の場面と化し平生の幽愁を一掃するに足るものがあつた

引續いて芝居市川錦糸一座の義理人情劇、浪界の一人氣者桃中軒滿月の朗々たる美聲、抱腹絕倒に値する漫才など何れもお腹の宿替へと云ふ滑稽至極のもので何れも爆笑の坩堝に陷つたと云ふのであつた、北間國婦會の手に成る握飯、副食物遺家族諸氏をして遺憾なからしめたのであるが、茲に特記すべきは皇軍慰問使として民謠漫才の演技を藏し遠く中華民國に渡り北中南支に戰つて居る〻皇軍慰問を決行した安宅寅吉君の決死的慰問決行談は其演技を插んで熱烈淋漓、安宅君亦淚を揮つて皇軍戰爭の苦鬪を語り聽衆をして肉躍り血湧かしめ演技の進むにつれて館內到る處落淚の雨と化し去つたなとは主催者側の苦心と相俟つて其慰安の何物より適正であつた事を充分に効果あらしめたと言つて憚らない

更に作山町長の餘興として隱藝の一つは時間の都合で出演せなかつたのは殘念とされたが時恰も夏ゝ日足の永きは聊つ當日なるに既に夜漏七時を告ぐると云ふので閉會を告げ和氣藹々裡に散會となつたのである

江名町が作山町長を迎へてより僅かに三歲の短日月に過ぎないが其內容充實の點に至ると他の町村の企及し難い處で記者は作山町長を訪ふ每に何時も此感を深くする、支那事變二周年を迎ふる今日銃後國民としての赤誠を致す上に聊かの遺憾もないと云ふ點になると只し敬服の外はない記念事業に關する一二を聞き特に報導の筆を擱る事にしたのである（完）

賞與を寄附

磐城海岸軌道會社運轉手石井儀治さんはこの程會社から貰つた賞與をそつくり小名濱國防後援會に寄附

奉公の仕納めと病床の老翁寄附

學校の備品購入費 感謝した三重木盃

草野村大字下神谷字六十枚青木喜重さん（六四）は危篤の病床から『これがせめてもの奉公のし納めだ』とこの程同村小學校へ備品購入費として金三十圓を寄附感激せしめてゐるが村役場では直に感謝狀と木盃三重を贈り病床の同翁を慰め

青木さんは前には兒童の教育資料として自ら山間を跋渉して採取した植物標本を學校に寄附今では同校の貴重な標本となつてゐる

四倉學童炎天競技

既報、石城教育部會第四區四倉方部小學校兒童の體育競技會は十四日午前八時から草野小學校庭で擧行されたが參加は四倉、草野、大野、大浦、神谷、夏井、高久、豊間の一町七ケ村九校でいづれも母校の名譽のため炎熱下白熱戰を展開頗る盛會であつた

田植作業の勞銀

互ひに醵出して寄附

草野村下神谷一號區內勞力移動班々長渡邊勝見、根本友作、佐藤高治、柏村新太郎さん達外班員五十餘名は田植作業で得た金の中からお互に醵金十七圓六十錢を同村銃後會に寄附した

自營團誕生

平市內既に十一組 防空の完璧陣成る

空の防護陣を强化する警防團の誕生に伴ひこれが一翼の固めとしての自衞團は從業員百八以上使用の工場、鑛山、銀行、會社及び學校に設置民間防空の第一線を守るもので平署警防課では去る四月以來これが設置團體の屆出を取纏め中であつたが十八日よりの第二次防空訓練を前にこの程漸く自衞團の完璧陣が實現同訓練に備へて準備を進めてゐる、市內の認可自衞團は河田、佐藤、片倉、平鑄鋼の各工場、磐中、平商、磐女及び第一、第二第三、第四の各小學校である

拾得恤兵金

平鑄鋼所職工飯野村南白土字長塚門馬論さん（三五）はこの程一ヶ年落し主不明の拾得時計を還付されたがこれを五圓三十錢で賣却そつくり恤兵金として今十五日平署に寄託した

軍用馬

檢定の日割

平市及び石城郡下における本年度軍用保護馬檢定は八月十一日から執行されるが各市町村の日割は左の如くである

△八月十一日―植田、磐崎△十二日―泉△十三日―渡邊、錦△十四日―勿來△十五日―山田、川部（以上植田繭市場）△十七日―入遠野、上遠野、田人（以上上遠野小學校）△十八日―平、好間、夏井△十九日―上下小川△二十日―草野、鹿島△二十一日―神谷、內鄕、箕輪、永戶△二十二―日―赤井、江名△二十三日―飯野、小名濱、湯本△二十四日―高久、豊間、玉川（以上磐中）△二十六日―大浦△二十七日―四倉、大野、（久ノ濱小學校）

軍友會

武運祈願

平市東部（中鹽外四大字）軍友會では明十六日閼伽井嶽藥師を參拜皇軍將士の武運長久を祈願する

英國を斷乎排擊

植田防空關係が決議

十四日植田管內二町八ケ村より參集した各種團體代表防空關係二百余名は協議に先立ち緊急動議に依り反英決議をなすべく交々立つて得意の熱辯を揮ひ正午植田方部民大會の名を以て陸、海、外の三相に宛て左の決議電報を發した

『援蔣に妄動する英國を斷乎排擊すべし』

湯本の反英

湯本町では十三日夜反英町民大會を開いたが更に三十一日午後六時から湯本座で反英講演會を開く

お小遣獻金

赤井小學校高等科一年生半澤キヨ子さん（一四）同校卒業生鷺キヨノさん（一四）稻田キミ子さん（一四）等の友達三人は今十五日平署に出頭"ほんの少しですがお國のために働いてゐる兵隊さんに上げて下さい"とお小遣ひを出し合つた金三圓を恤兵金にと寄託した

大杉稻荷祭禮

市內材木町大杉稻荷神社の夏祭は十六日夜執行されるが時局柄餘興を廢し町內出身將兵の武運長久祈願祭を催すと

深作一等兵

定城で戰死

湯本町臺ノ山出身鬼武部隊步兵一等兵深作二郎君は四月三十日定城附近の戰鬪で名譽の戰死を遂げられた旨この程原隊から發表された

同君の本籍は茨城縣那珂湊で長太郎氏（四八）らよのさん（四九）の二男で家族は十數年前湯本町に轉居したもの、留守宅には兩親の外祖父豊次郎さん（七二）と四男毅（一七）雄君二女しげのさん（一二）がある

水の誘惑から水魔の犧牲

子を持つ親に警報 平署の注意

水の誘惑から水魔の犧牲になる幼兒は每夏多數に及んでゐるが今年も暑氣の訪れと共に早くも各所に溺死者を出してゐる有樣なので平署では『これは人的資源の培養を叫ばれてゐるこの際放置出來ぬ問題だ』と通牒を發して各家庭の注意を喚起することゝなつた

通信文庫や事變室設置

平市では『通信文庫』を設け前線勇士からの軍事郵便を貴重なる史實として永久に保存することになつたが小名濱小學校でも校內に『事變室』を設け戰死者の寫眞や遺品その他事變に關する參考資料を陳列事變の意を一層町民に認識せしむべく計畫を進めてゐる

練習生は頗る元氣

磐城丸豊漁

縣指導船の磐城丸は既記の如く目下小名濱水產講習所二年生十四名を乘せ鹽谷崎燈臺東微南三百浬の沖合で猛訓練中だが一同元氣で十二日は鰹四千尾を漁獲した旨十四日入電あつた、歸港は十六、七日の豫定である

大會前の練習試合

磐中、平商兩野球部では明十六日午後三時から左の如く練習試合を行ふ

△磐中球場 磐中―入山

△金坂球場 平商―磐炭

袋叩き

若者を檢擧

平市材木町富士食堂雇人藤島源二郎（二二）同籍崎一（一六）＝假名＝の兩名は今朝一時頃市內南町の花街で搔搔小路色川材木店方運轉手鈴木末定（二三）君と些細のことから口論をはじめ袋叩きにして全治十日間の傷害を與へ平署に檢擧された

稻作指導

講習會開催

平地方二十二ケ町村技術員を集めての稻作指導講演會は十四日午前十時から神谷村農試分場で橋本技師を講師に開催されたが今十五日は郡南十ケ町村の技術員を集め植田小學校で開かれた

呉羽人絹の中毒事件

腐敗した鯖

既報、錦村呉羽紡績人絹工場の中毒事件は縣衞生課で鋭意調査の結果九日の獻立表と發病時間を推定して鯖と馬鈴薯の煮付による中毒と判明した

これは同日晝食として全從業員に給食したものだが食後三、四時間で中毒症狀が出てゐる點から見て腐敗し易い鯖の調理不完全によるものと斷定するに至つたものである

平市人事

出生

△堂ノ前一六緒方四郎氏二女理子さん

△杉平二〇目下東京市品川區大崎中丸四四四二瓶猛氏長男昂君

死亡

△仲間町一一竹次郎氏五男江尻逵司君（四）

△材木町三丁目下東京市荒川區町屋一ノ一〇四八貞夫氏四女瀧內茂子さん（三）

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間うたのおけいこ「大陸こどもの歌」

▼後六、二五 農家の時間「稻作の今後における管理」砂金眞一

▼後七、三〇 國民歌謠

▼後七、四〇 講演「日滿支產來の調整」竹內謙二

▼後八、〇〇 マンドリン五重奏とギター二重奏

▼後八、三〇 十分演藝「ほがらか日記」「かみなり雲」明日待子外

▼後八、四〇 箏曲「須磨の嵐」箏山室千代子外

▼後九、〇〇 物語「剪燈新話」田中貢太郎脚色、徳川夢聲

明日の部

▼前九、三〇 子供の時間うたのおけいこ「大陸こどもの歌」

▼前一〇、四〇 皇軍武運長久祈願祭實況―官幣大社賀茂別雷神社より中繼―

▼前一一、一〇 大和大峰山の山伏修業狀況（錄音）

▼後〇、〇五 合唱「盆會の歌」外、佛教音樂協會合唱團

▼後一、〇〇 「思ひ出の聲」―（レコード）淺世左近「三井寺」外

▼後一、三〇 思ひ出の名畫大會、一、喜劇新馬鹿大將「消防の卷」加藤清眼外

▼後二、五〇 北米西部向海外放送

▼後六、〇〇 子供の時間音樂劇「魔法使の弟子」

▼後六、二五 講演「防空に關する要望」陸軍少將西村琢磨

▼後七、三〇 浪花節「元祿譽の太刀風」鼈甲齋虎丸

▼後八、〇〇 十分間演藝ほがらか日記「人が空を飛ぶ話」徳川夢聲外

▼後八、一〇 寄席中繼東寶小劇場より中繼―落語「道具屋」柳家小さん外

男女理髮 助手入用
【履歷書送レ】
東京市荒川區町屋一ノ六一二番地
カネカワ理髮館
電話下谷（83）三三三

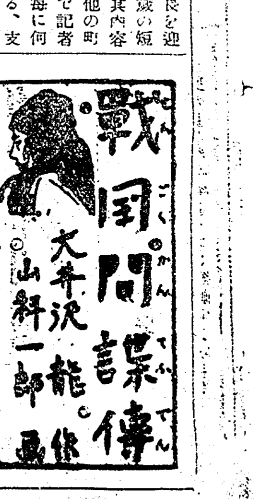
メガネは！
平市二丁目
玉屋

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉價に勝る商略なし
□確實敏捷は㊇の生命なり

（夜間診療）
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

鐵道指定旅館
割烹 小瀧
小名濱電話一〇三番

敬神崇祖！日本精神
御靈前に
お盆提灯
供へて祖先を敬ひませう
低物價政策に順應して今年は値上げせす、お早い御註文品には絕對代用品を使用致しません。
▽是非!!! お早く御註文願ひます
スガノヤ提灯店
平・四 電話 九五番



戰國間諜傳

大井沢龍 作

山科一郎 畫

第二十七回 呪ひ（一）

與左衞門は小膝を立て〻、忠成の側から顏を近寄けて、ピタリと貼つてある金鍔紙を睨めてゐたが、忠成の手から血糊を取ると紅い縁紙を出し、血糊へペタリと擦つてからそれを貼り代へてやつた。

既朝を遣はしたやうな血痕が四五寸、紫色にやゝ盛上つてゐる。

「雨森氏、此分なれば、もう出仕なされても苦しうあるまい、お間でも御座らうが、關東表に入り込んだ間者から日々の注進報告は川內府目身が采配をとり大坂で狩りを催すのに小寄せて近々に押し寄せるとの噂だ城中では、まだ火急も切らぬ先から、もう始まつてでもゐるやうた大騷ぎこんな場合に引込んでゐては反つて御身の爲によくあるまいと思つて聞きに來たのだ、どうだ明日から出る氣はないか」

「いや、そう聞はぬでもないが、何分にもこの傷が引目、人に怪しまれるかと思ふと、どうも」

忠成は氣まり惡氣に顏を曇らいた。

與左衞門も思はず苦笑して

「それしきの事は何とでも云へるではないか、若し同役などに訊ねられたら、飮過酒に醉ひ過して縁側に落ち前栽に石を打つて、斯くの始末とでも云へば、それでよいではないか」

「アヘヘヘ、まさか武士たる者が左樣な不躾なことも云へまい、イヤ、宜敷うござる、それでは思ひ切つて、明日より出仕することにいたさう、時に大隅氏、先夜お願ひ申した儀は如何で御座るかな」

「おゝ、それ／＼」

と大隅與左衞門は膝をすゝめて

「それがしの縁者に、お雲江と申す櫻姫殿に勤める女中がゐるので、試みに呼び寄せて申含め、內內探索いたさせ申した」

「うむ、それで結果は？」

忠成成はづつと、大隅の顏を見

「ところが彼の道は彼、流石のことは女でなくては判らぬもの、委細判明いたした」

「それは千萬忝けない、してその本人は？」

忠成は餘程に惜しいと見えて思はず膝を揃り／＼て聞いた。

「それは橘と申す女中ださうな」

「橘？むゝ、してその女は何者で御座る、身元素性は――」

「待て待て、そう性急ではとんと話が出來ぬ、聞いて吃驚いたされるな、その橘と申す娘こそ、御山天下に隱く眞田幸村殿の息女とのことで御座る」

「えゝツ、ではあの幸村殿の――うむ道理で」

幸村の息女と聞いて、忠成は慰に思ほれてしまつた、恐らくは思も出けないでゐた。

急に考へ込んでしまつた忠成を眺めてゐた大隅與左衞門もさすがに氣の毒になつて來て

「雨森氏、何も幸村殿の息女だとて、そう考へ込むにも當るまい、又何か好い方法がないものでもあるまいに――」

忠成は近頃も忘れたやうに、キユッと唇を噛んでゐる、鬼の樣な憎しみが今彼の胸內の血を逆流させてゐたのである。

「おのれ、憎つき奴奴、よくも我讐を――しかもこの傷を負はせるとは――」

忠成は眼を擧げて、呪ひと憎しみに燃える瞳で影もなき仇敵を睨んだ。

丁度其の夜、忠成の禁法は完全に橘の爲に破られてしまつた。

眞夜中深く忍び込んでお雲の方に近附いた瞬間、突然現れた橘に、鑄內部の鐵扇を以つて斬りつけられ、狼狽して逃る忍びを、居間めがけて踏込まれサッと執り下げられた、その途端・部屋の中で行者役に坐り、修行病者のやうにフラフラとしてゐた彼の肉體はアッ、といふ叫びと共に壇の上から轉がり落たのであつた、行者が驚いて抉け起した時に顏は二つに割れ誰

少年少女のページ

……小閑笑話……

うどん

太郎「お母さん此のうどん熱いね」

母「それそばたからよ」

太郎「だつてこんなに遠くからみたつて熱いよ」

俺らが天下と屁こたれ連中

暑い夏を控へて悲喜交々の動物園をお見舞

近づく暑い夏をひかへて動物園君のはうでは喜び勇んでゐるのと、反對にへこたれて、しよ氣返つてゐるのとゐます。つまり、暑い夏が苦手の連中と、大歡迎の連中とがゐるんです。以下、この動物園君のお家（?）を廻つて、親しく見舞つてきた記者の感想を、お傳へしませう。

吼えるライオン!

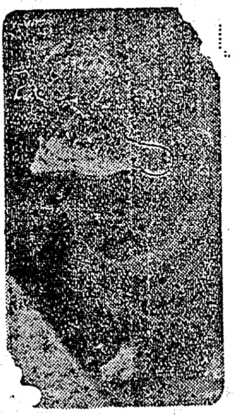
人間を食べたさうなモノ凄い面魂ひ

家ブライオン!「百獸の王」と云はれる彼氏は、アフリカや印度の熱帶地が故郷ですから、暑いのは一ガ手、近づく夏を待ちかねて「俺らが天下!」振を發揮しようと、す晴しい元氣です。が、もともと夜行動物ですから、晝間は大ていねそべつてゐますが、それも前足をグッと縮めて、丸くなつて眠る冬の頃と違ひ、いかにもノビノビと、惡く云へばダランなく、お腹を仰向けにして寢てゐます。尤もライオンは、河馬や、手長猿などとちがひ、日本の氣候になれやすいので、どんなに寒い冬でも室へスチームを通してやる心配がありません。

なほ上野動物園では、毎日午前十一時に、ライオン君にお食事の御馳走をやるのですが、そのたべ方は物すごく、見てゐてもゾッとするほどです。

お食事は……ジャガ芋を十五貫

大眼玉を光らせて



元氣におよぐ河馬くん夫婦

アフリカの暑い國や、河の中に棲んでゐる河馬君は、ライオンと同じやうに暑い暑い夏が大好きです。晝間は河の中へもぐり、大きな鼻だけを水の上にだして、寢てゐますが、夕方から夜にかけて、ナマの草を食にノソノソと匐へよつてきます。

上野動物園の河馬君夫婦は、ジヤガ芋、オカラ、フスマなどを、毎日十五六貫も平げないとお腹の虫が承知しないのですが、寒い冬のうちは、プールのお湯が冷たり、お室の暖房が低くなると、カラ意氣地がなくプールの底深く沈んだきり、なかなか姿を見せません。が、この頃は元氣よく、前のやうな身體を半分までうかべて、牛の三倍もあるやうな大眼玉を光らせながら、トタンに大口を開けたりして、愛嬌タップリです。

冬時分から見ると、プールのお湯も半分に減り、スチームも止められ、閉ぢこめた窓ガラスも所々開けられて、初夏のそよ風が入るやうになつてゐます。記者が訪ねた日は、生憎プールの一部を修繕してゐたので、人夫の方が丸太棒をはこび入れたり、金槌でがんがんたゝくので、大きなくせにおく病な河馬君夫婦、おつかなビックリでゐたのは、お氣の毒みたいでした。

世界の花の色を分類

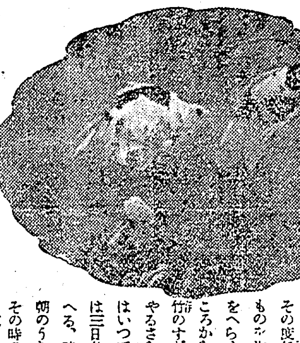
○……英國色彩研究評議會のロバート、ウイルソン氏は王室園藝協會の協力を得て三年前から、あらゆる花のいろを選別、分類し、全世界を通じて花のいろの標準を確立しようとの大事業に着手してゐたが、最近完成、この結果はちかく色彩研究評議會から「花の色の正式分類表」として世界各國に發送されることとなつた。

○……この分類は先づ基本的ないろをえらび出すため花のもつ純粹ないろ六十四いろを決定、次でこの基本色にそつて夫々差異ないろの分類が進められた。この結果約三千の花のいろが分類されたが、各色にはそれぞれ古來の文獻其他によつて美術的の名前がつけられた。千差萬態の花の中で純粹ないろをもつてゐるものは案外に少く、その代表的なものは金盞花のオレンジ色、ミモーザの黄、躑躅の紫、サルヴィアの赤等であるといふ。

水盤戀し

金魚の飼ひ方

金魚の産卵がはじまりました。この産卵したものをふ化して一人前に仕立てるにはこつがあつて素人には困難ですが、しかし、一寸した點さへ注意すれば大して困難なく立派に孵育させることが出來ます。金魚の産卵期は四月から七月まで續きますが飼育上からは五月一杯までが一番よい、餌ものはおよそはじめた鷄卵をゆでて黄味をガーゼのやうなもので水の中へこしたものをそのまゝ鉢の中へまくのですが、澤山まきすぎると鉢の水を腐敗させ稚魚を殺すことになりますからこの點注意します。時間は朝の十時と午後の二回が普通ですが人に依ると三回與へます、いづれかといふとこの方がよい、この場合お腹が黄色になつたところでやめる、孵卵の翌日は生後三日まで位與へその後は生きたミヂンコを食させます、かうして廿日ばかり經過したところでよいものをえらび出して他は捨てゝしまふ、この[illegible]るのが寧ろ[illegible]に深山[illegible]ますから、そもそも失敗のもとはこゝにあるのですから、惜いと思つたものも[illegible]よなく捨てしまひます卅日位にはミヂンコとイレミミズをいれてやり、水も今までとちがつて五日から一週間で全部とりかへます、そしてその度毎にわるいものを淘汰して數をへらすまたそのころから日よけに竹のすだれをしてやるさらに六月にはいつてからは水は三日位で取りかへる、時間は必ず朝のうちにする、その時の餌の食事はいつもより一時間くらいおくらすかやうにして行きますとふ化後四十日くらいで二寸くらいの大きさとなります



七つの色を煙で出す

虹タバコ

アメリカ婦人に大持ての「ニヂの煙を出すタバコ」が最近ニューヨークに生れ、愛煙家を喜ばせてをります。これはタバコの紙にニヂの七彩が現れるやうに細工を施したもので、赤、緑、何でもお氣に召すまゝのけむりを出すたばこをかへて吸ふことが出來るやうになつてゐて、從つて、煙の色にに合ふやうなお化粧をしたり衣裳を着たり、またその逆に煙のいろをお化粧に合せたりして一層美しさを引き立てることも出來ようといふものです

氷砂糖から光が出る

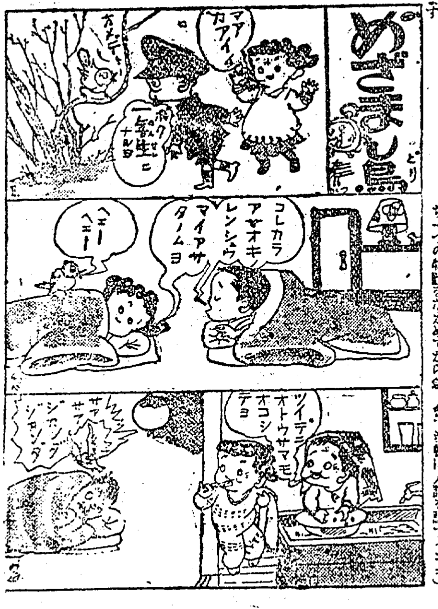
結晶體に急激に強い力が加はると、結晶體は更に小さい結晶體にこわれますが、この時には光と熱とを出すものです。そこで、おもしろい實驗があります、氷砂糖を布でつゝみ固い臺に載せ、暗室な中で金づちで強く打つたとしますさうすると、どうなるでせう、氷砂糖といふ結晶體が破れるとたんにピカリとほたるの光りのやうなかがやきをみせますあとで指で觸れてみると熱を發した形が感じられます

鳥類はなぜ頭を動かすか

人間は兩眼で同時に一つの物體を見、兩眼の視線のはさむ角度により眼球を動かす筋肉の緊張度が違ふことによつて物體までの距離を判定するのであつて、それによつて外界が立體的にみえるのであるところが動物の或る種類例へば多くの鳥では眼が頭部の左右兩側についてゐて左右の眼は別々の物體なり景色なりを見てゐるから人間のやうにして距離を判定することができないわけであるところが最近米國の國民博物館のオースチン、クラーク氏は鳥は片眼でも距離を判定することができるといふ説を發表してゐる氏によるとハトなどは頭部を水平に動かし、海岸にゐる鳥は上下にうごかすがこれらは三角測量で距離を定める時の基線の如きものを設けるためである、即ち一つの物體をながめてから急に頭部をうごかすと前の映像が網膜に殘つてゐるから二つの像が重なり合ひちかいものほど喰ひが大きいから鳥はそれによつて距離も判斷するのである、尤もこんな前の像が殘ること即ち殘像が鳥の眼にも起ることを假定してのことである

もしそうだとすれば、鳥の眼のレンズは廣角レンズで視野が廣い點から見ることができる上に各々の眼がわれわれ同樣に距離を判定し立體的に景色を見得るといふ頗る有利な器官だといふことができる

（寫眞は米國で開かれた鳥類展覽會で話題の人語を話すインコ）


めざまし鳥
とり
オヤ
マア カアイイ
ボク 一年生ニ ナルヨ
コレカラ アサオキ レンシュウ
マイアサ タノムヨ
ヘー ヘエー
ツイデニ オトウサマモ オコシテヨ
サア
ジャンジャン

大陸行進譜

大川兵五作 君山琳美畫

第七十九回 別れ（二）

「叔母さま、私はもう、ふたゝび日本に歸らない決心で渡滿いたしますが、一度だけ私のほんたうの心も知つていたゞき度いと思つてお別れかたがた參つたのです」

双葉は新らしく流れ出る涙を拭きながら語りつゞけた。

「叔母さま、今でも私は、敬一さんを愛つてゐます。たゞ、澤田から操をぬすまれたゞけで、敬一さんと永久に別れねばならなかつたことは、諦めようとしても、諦められません。そして、私のたつた一人の親友の、美佐子さんと結婚されたのは、どうした譯でせうか?」

双葉は、如何にも悲しさうであり、くやしさうであつた。

「一旦は、許婚を解消したとになつてゐましたが、私はお母さんの手前、表面だけ承知したやうに見せかけてゐたゞけでした。お互に、心の中で信じあつてゐればいいと思つてゐました。私は二十三になつたのです。女は二十五になれば、自由結婚が出來ると聞いてゐましたので、それを樂しみに、私はあの惡魔のやうなお母さんの前に、辛棒して來ました。けれど、今となつてはどうすることも出來ません。私はもう敬一さんを思ふ資格がなくなりました。私は、美佐子さんと、敬一さんと、滿洲へたたれる時、人影にかくれて見送りましたが、泣けて仕方がありませんでした」

双葉はしつきりなく涙を拭いた。

「………」

杉江未亡人は、双葉の言葉にたいして、答へることが出來なかつた。實際を明ければ、同情する點もあるが、杉江未亡人にとつては、むしろ、双葉と敬一の許婚が解消したことを、寧ひとも思つてゐるのであつた。

今では、親での[illegible]、立派な美佐子が、敬一のそばについてゐるのである。何も、惡魔のやうな女の娘と一緒になどされなくてもいいのである。杉江未亡人は、一人で、ひそかにそんなことを思つてゐたのであつた。

「叔母さま、私はこの世の中に、信ずることの出來る男は敬一さんだけです。私は敬一さんのために生れたのだと思つてゐました。私はもう一生、結婚しません。然し御迷惑はかけませんから、滿洲の方の宛名を知らして下さい」

敬一の住所を聞きうつすと

「どうぞ、ごきげんよくお暮し下さい」

と立ち上つた。

「それでは氣をつけてね。向ふへ行つたらお手紙下さい。それから困つた時はいつて寄越しなさい。都合しますからね」

杉江未亡人はさういつて、奥の間から、紙に包んだものを取出して出した。

双葉は玄關まで來て、いひにくさうに

「すみませんけど、敬一さんの寫眞を一枚いたゞけないでせうか」

といつた。

「えゝ、お待ち下さい。澤山ありますから」

杉江未亡人は、敬一の書齋から最近撮つたばかりの、敬一の半身の寫眞を持つて來て双葉に渡した。

「叔母さま、御恩は一生忘れません」

双葉は、寫眞をジーッと見てから、大事にふところにしまひ、初めてさびしい笑ひを笑つたのであつた。

三井タクシー
平二 電話六八五番

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

開院
歯科全般
口腔外科
歯列矯正
平郵便局ウラ通り
平市南町四十五
鈴木歯科醫院
東京歯科醫學士 鈴木與一郎

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
玉屋 平市本町二丁目

夏もの洋品の一色
晴雨兼用傘と二重張洋傘
豊富陳列
夏帽子と婦人、子供淸涼衣
ツルヤ 電一四〇

開業
一、産婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
六月二十三日ヨリ診療ニ應ズ
小名濱町小學校前
黑澤醫院
醫學士 黑澤廣
（元土井醫院跡）

吸入用酸素 99%純度
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 體温計 寒暖計
秤ノ取緖、垂糸、修繕致シマス
關内藥局 電話四〇番
寫眞材料一式販賣致シマス

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

提灯と國旗

芳醇! 美味!
たひら正宗
山崎合名會社 電話一〇番

暑中御伺申上候
陳者今般〃電話二五八番〃を
一九一番
と改めました何卒よろしく御願申上げます。
平市四丁目三三
有價證券 實物問屋 富岡株式店

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

看護婦家政婦大募集
派出大多忙につき至急會員募集す
茨城縣助川町大字助川（電話一五八番）
多賀看護婦會
助川家政婦會
會長 望月房子
—見習生も數名募集—

産科 婦人科 專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
【電話三四番】

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、染織の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジヤケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなります男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御備へ御使用下さい
定價 20錢 30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

病室増築、手術室完備
醫學博士
産科 婦人科
五十嵐雄二
平市新川町 電話三六九番

御會葬御禮
昭和十四年七月十五日
喪主 色川一
色川光以
外親戚一同